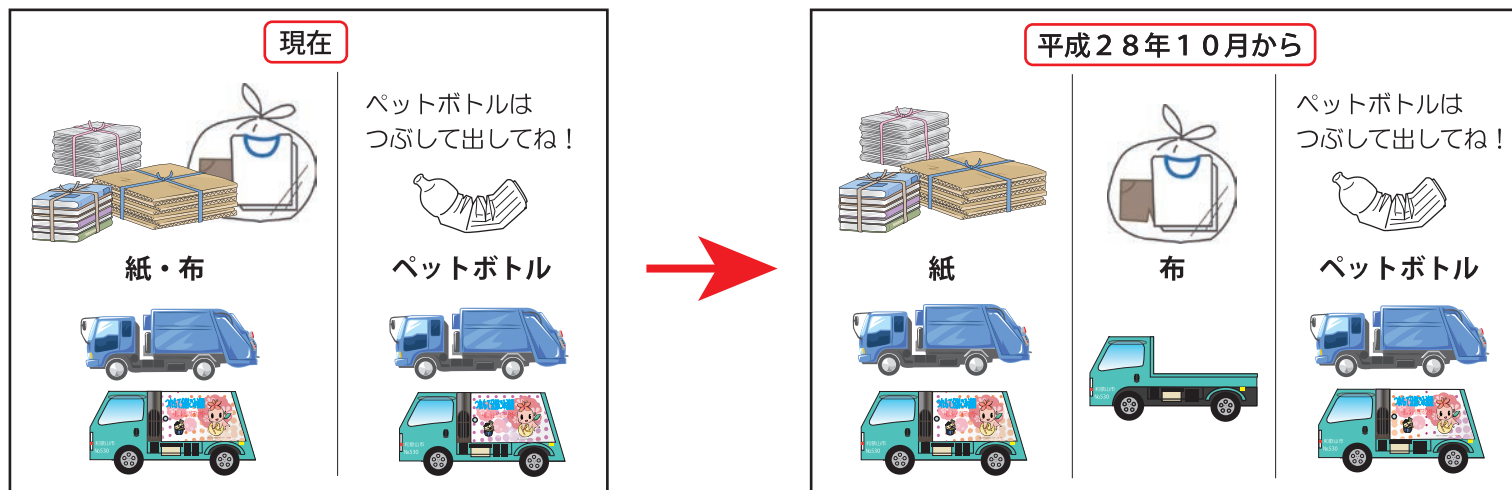




平成28年10月から、紙と布を別車両で回収します！

今までは、紙と布を同じ車両で回収していましたが、平成28年10月から紙と布を別車両（紙はパッカー車、布は平ボディ車）で回収します。

紙と布を別車両で回収することによって、まだ着ることのできる古着はリユース（再使用）が可能となります！



市民のみなさんの分け方・出し方、収集日等に変更はありません。
今までどおり、収集日の当日朝8時までに出してください。

※別車両での収集に伴い、収集ルートも一部変更となります。
みなさんのご理解・ご協力をお願いします。



小型家電等回収スケジュール



平成28年度月別収集予定表です。詳しい場所・日時は、地域の回覧板や [リサイクルネット](#) などでご確認ください。

- 10月：芦原・有功・広瀬・貴志・高松・田野・雑賀崎・今福
- 11月：城北・本町・紀伊・名草・木本・三田
- 12月：西和佐・岡崎・新南・加太・湊・西山東・東山東・宮・大新

- 1月：中之島・野崎・和佐・川永・雑賀・小倉・山口
- 2月：砂山・四箇郷・松江・楠見・安原
- 3月：雄湊・吹上・宮北・宮前・西脇・直川・和歌浦

小型家電は自己搬入もできます！



青岸清掃センター：月～土曜日（祝日含む）12時～15時
収集センター：月～金曜日（祝日含む）9時～15時（要事前連絡）



7月14日（木）第7回和歌山市ごみ減量推進員研修会を開催しました。

第1部 ごみ情報誌まるわかり講座 ～リリクルの総合ごみ情報誌を活用しよう～

平成28年4月発刊の「リリクルの総合ごみ情報誌」（市内全戸配布）の内容や使い方を説明しました。



家庭や自治会等で活用してくれてるよ！

第2部 気になる！となりの推進員活動～各地区の活動事例発表～

平成27年度の活動報告書を基に3地区の推進員が代表して発表しました。

小倉地区 ごみ減量に対する取り組み

～小倉地区の広報・啓発活動～

宮地区 不法投棄撲滅への取り組み

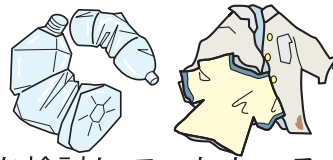
～大門橋が花いっぱいになるまで～

加太地区 資源集団回収の取り組み

～加太サニータウン自治会の活動～

集団回収活動をご紹介します！

加太サニータウン自治会



自治会の予算が少なく、自治会費以外の収入源を検討していたところごみ減量推進員の研修で集団回収制度を知り、活動を開始。

○活動内容

- ・平成26年3月、集団回収制度に登録（活動開始から約2年4ヶ月）
- ・実施日時：毎月第3日曜日 午前8時から（2時間程度）
- ・集積場所：自治会館敷地内
- ・回収品目：全種類（紙類、布類、金属類、瓶類、ペットボトル）

○回収実績

回収量／奨励金＋売上金



平成26年度 全種類 合計9,144kg／合計157,000円

平成27年度 全種類 合計9,593kg／合計141,594円



研修会風景



活動風景

○活動をして良かったこと

収入を街灯のLED器具化、地域の祭り、環境美化、自治会農園などに充てており、自治会で有効に活用しています。また、この活動を通じて地域コミュニティが生まれました。

○活動で工夫したこと・アドバイス

- ① 回収ボックスを設置したことにより、住民が資源を自主的に搬入してくれるようになりました。回収の利便性が上がりました。
- ② 毎月の回覧で、住民にきちんと報告することにより、活動に理解を得ることができます。活動内容を周知することは、活動していくにあたり重要なことです。
- ③ 回収作業や分別整理作業に住民の協力を得ることが大切です。続けていくには無理をしないことです。



和歌山市資源集団回収奨励金制度とは・・・

地域のみなさんが、資源（かん、びん、ペットボトル、紙、布）を持ち寄り、市の登録業者に引き渡し、売上金を受け取る活動で、3Rの推進にもつながる活動です。和歌山市では、回収量に応じて、さらに奨励金を交付しています。

わたしたちの日常生活で捨てられるごみの中には、紙類、布類、かん類、びん類など資源として再利用できるものが多く含まれています。これらの資源は捨てるのではなく分別して回収し、再利用・資源化することでごみを減らすことができます。

まずは、奨励金制度に登録しませんか？

- ① 市へ回収団体の登録**
 市内の非営利な市民団体
 （自治会・子ども会・
 老人クラブ・PTA・NPO・
 マンション管理組合など）
- ② 資源を持ち寄り
引き取り業者へ売却**
 団体に決めた日に
 資源を集めて、
 回収業者に売り渡します。
- ③ 市へ回収量の報告
奨励金の請求**
 一般廃棄物課にて申請・
 請求を行ってください。
- ④ 登録口座へ
奨励金の振込み**
 奨励金を受け取る。

奨励金交付の対象となる資源物及び交付金、売上金について

- ☆対象は古紙類、布類、金属類、びん類、ペットボトルです。
- ☆全品目か、A(紙類と布類)グループまたはB(金属類、びん類、ペットボトル)グループのいずれかのグループでの活動が必要です。
- ☆奨励金は、1団体の上限が20万円/年です。

集団回収のメリット

- ① 地域コミュニティ形成に役立つ！**
地域で協力しながら活動することでご近所のコミュニティが生まれ、安全安心な街づくりに繋がります。
- ② 分別リサイクル意識向上に！**
集団回収に取り組むことで、分別意識が高まります。
一般ごみも減らすことができ、ごみ処理費用の軽減にもつながります。
- ③ 売上金・奨励金の有効活用へ！**
団体の活動を助成できたり、防犯や防災グッズを購入するなど、有効に活用できます。
- ④ 資源の持ち去り対策に！**
各家庭から出された資源が違法に持ち去られることが無くなります。

いろいろなことがたくさんあるよ！



10月は3R推進月間です

毎年10月は3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進月間です。市民のみなんで3Rに取り組み、循環型社会を形成していきましょう！近年、和歌山市のごみ量は、市民のみなさんの取り組みにより、ごみ減量の成果が出始めてきました。これからもごみを減らすために、日々の行動から見直してみませんか？

リユース/もう一度使う

- 壊れたら直して使う
- いらなくなったものはリサイクルショップへ持っていく！
- 誰かに譲る



2.Reuse

リデュース/ごみを減らす

- 必要なものを必要な量だけ購入する
- ごみの容積を減らすために、ペットボトルはつぶして出す

1.Reduce



リサイクル/分けて資源に

- 集団回収に取り組む
- 市の分別収集に協力する

3.Recycle



リリクルッキング with 水きりモニター参加者募集！

使いきり、食べきり、水きりでスッキリ！

調理くずを出さずに調理する方法や生ごみの水きり講座でごみの減量を実践できます！

【対象】18歳以上の市内に在住で、水きり器のモニターになってもらえる人

【開催日時】第4回 平成28年10月27日(木) 10時～13時30分 → 応募締切：10月17日(月)(必着)

今年度最終！ 第5回 平成28年11月17日(木) 10時～13時30分 → 応募締切：11月7日(月)(必着)

第6回 平成28年12月5日(月) 10時～13時30分 → 応募締切：11月22日(火)(必着)

【開催場所】和歌山市十一番丁1-2 (大阪ガスディリパ和歌山内) 大阪ガスッキングスクール

【参加費】無料

【メニュー】切り干し大根入り大根餅

豚肉と旬野菜たっぷり金山寺味噌炒め

スープギョウザ

ご飯

ジャスミンティークッキー

【応募方法】はがき、メールに下記必要事項を記載し、ご応募ください。

「〒・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・日中連絡できる電話番号・参加希望日」

☆1通につき、2人まで応募できますが、全員の必要事項をご記入ください。

☆2回分にご応募される場合は、1回分ずつ別のはがき、またはメールでご応募ください。

【締切】上記「開催日時」を参照ください。

【申込先】〒640-8511 和歌山市七番丁23番地 和歌山市役所 一般廃棄物課 リリクルッキング係 宛

メールアドレス：ippanhaiki@city.wakayama.lg.jp

使いきり、食べきり、水きりを
実践して、生ごみの減量に
チャレンジしましょう！



■発行/和歌山市一般廃棄物課

★和歌山市の「ごみ」に関する情報は、リリクルネットにも掲載しています★

リリクルネット：<http://www.rerecle.net/>

和歌山市 HP：<http://www.city.wakayama.wakayama.jp>

リリクルネット



【お問合せ】電話 073-435-1352 FAX 073-435-1270 E-mail ippanhaiki@city.wakayama.lg.jp